

「わかりやすい行革専門部会評価シート」

(表題) 税収入の確保について

関連項目 No. 5 7 個人県民税徴収の促進と県税滞納額の縮減

No. 5 8 納税意識啓発のための税務広報の充実

【取組の概要】

税収入は、一般会計（県政一般のための経費）約 7,600 億円のうち、約 4 分の 1（約 2,000 億円）を占めており、歳入の大きな柱となっている。

税収は、様々な行政サービスを実施していく上で、欠かすことのできない貴重な自主財源であるため、その確保が大変重要である。更に、税の信頼性確保のためには、滞納額の縮減を図っていくことが求められる。

また、納税意識啓発のため、租税教育の実施や広報内容の充実に努めるとともに、時機を得た情報提供を図るべく努力している。

【公表資料】

栃木県税務統計（予算額、収入額等）

県税のしおり 2011

栃木県地方税滞納整理推進機構取組方針

租税教育用副教材（サブちゃんファミリーの税金探検記、私たちのくらしと税金）

税金ミニ事典（下野新聞） など

【公表方法及び公表の際のポイント】（下記の視点ごとに所管課が記入）

（公表方法）

栃木県税務統計（予算額、収入額等）：毎年 12 月頃に前年度の数値を公表。一部データについては、税務課 H P にも掲載

県税のしおり 2011：冊子は、県民プラザ、県民相談室、各県税事務所等の窓口に配置するほか、県内の各中学・高校・大学、市町等に配布。電子データは税務課の H P に掲載

栃木県地方税滞納整理推進機構取組方針：推進機構の本部会議の決議を経た後、地方税徴収特別対策室にて報道発表

租税教育用副教材：租税教育用の副教材として県内の全中学 3 年生・小学 6 年生に配付
サブちゃんファミリーの税金探検記（小学 6 年生用）
私たちのくらしと税金（中学 3 年生用）

税金ミニ事典（下野新聞）：毎週土曜日に下野新聞に掲載される税金ミニ事典（国税・県税・市町村税）に、月 1 回程度の頻度で県税関係の記事を掲載

（ポイント）

行革のテーマ・目標に沿った体系的な公表資料となっているか。

「とちぎ行革プラン」では、県民満足度の高い県政の実現に向けて、様々な課題等に的確に対応した施策を展開するため、県政運営の土台の一つである自律的な財政基盤の確立を目標の

一つとして掲げている。

納税意識啓発による税への理解促進を図るため、「栃木県税務統計」では県税の決算額を中心に各種統計数値を掲載しているほか、「県税のしおり」や「租税教育用副教材」では県税の歳入全体に占める割合や県税の役割など記載している。

県として行革に関して県民に伝えたい内容が明確となっているか。

安定した税収確保を図るためには、県民がなぜ税金を納めるのか、正しく理解してもらうことが大切であるため、その意義や各税目の内容を県民に正しく伝えることを念頭においている。

そのため、「租税教育用副教材」では、税金の意義、その性格、役割などを説明するとともに、「県税のしおり」では加えて各税目ごとの納税者や納税額など具体的な内容を記載している。

県民が知りたい情報の提供に努めているか。

納税者は誰で、どれくらい税金を納めるのか、納める時期はいつかということを県民が知りたい情報として想定し、その情報について、「県税のしおり」で各税目ごとに区分して公表している。

また、必要に応じてチラシ（例 震災に関する情報等）、ポスター（自動車税関係）を作成するなど、その時機に適した情報の周知に努めている。

伝える相手を想定し、ふさわしい内容、表現になっているか。

「県税のしおり」は、年齢、性別、県行政との関わりの多少に関わらず、広い範囲の県民を伝える相手として想定し、説明文を平易でわかりやすい表現にしている。

「租税教育用副教材」は、該当学年の児童・生徒が興味を抱くような写真の選択、文章表現に留意している。

図表等により視覚的にわかりやすくなっているか。

「県税のしおり」では、税目ごとに表や図を用いることで多くの県民が理解しやすいようにしている。

「租税教育用副教材」は、該当学年に沿ったボリュームに配慮し、イラストなどを使用するなど、親しみやすい教材となるようにしている。

その他

「租税教育用副教材」では、配布後にアンケートを実施し、教師の立場から実際に感じたこと等を記載してもらい、次年度の作成に反映させている。

また、徴収の強化月間等については、県民だよりや市町の広報誌への掲載を含め取組内容等の周知を図っているところであるが、徴収の促進そのものを目的とした公表資料というより、納税意識の啓発に視点を置いたものが主体となっている。

【公表に対する評価・意見】

行革のテーマ・目標に沿った体系的な公表資料となっているか。

【評価すべき点】

【改善点、今後の課題等】

県として行革に関して県民に伝えたい内容が明確となっているか。

【評価すべき点】

【改善点、今後の課題等】

県民が知りたい情報の提供に努めているか。

【評価すべき点】

【改善点、今後の課題等】

伝える相手を想定し、ふさわしい内容、表現になっているか。

【評価すべき点】

【改善点、今後の課題等】

図表等により視覚的にわかりやすくなっているか。

【評価すべき点】

【改善点、今後の課題等】

その他

【評価すべき点】

【改善点、今後の課題等】